

臨時休業のお知らせ

市民窓口サービスセンター（近鉄四日市駅高架下）は、点検作業のため、下記の日程は臨時休業いたします。皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

（臨時休業日） ・ 11月12日（土） 終日 ・ 11月13日（日） 終日

《問合せ先》 四日市市役所 市民課 ☎354-8152
市民窓口サービスセンター ☎359-6521

自動車文庫

11月30日（水）

橋北地区市民センター

10:00～10:40

滝川公園北駐車場

10:50～11:20



おすすめセンター図書

橋北地区の皆さん、こんにちは。

皆さんは 橋北地区市民センターに貸出図書があるのをご存じでしょうか？市立図書館ほどの数ではありませんが、1000冊近い 蔵書数があります。貸出期間は 2週間で、期間の延長も可能です。事務室の中に置いてありますので、お立ち寄りの際にどんな本があるか、ぜひご覧ください。

さて、そのセンターの蔵書の中で ぜひお奨めしたい本について、この「おしらせ」で紹介していきたいと思います。紙面の都合もありますので不定期連載の形となりますが、できるだけ多くの図書を皆さんに紹介していければと思います。さて、センターからお奨めの図書、第一弾は……

「鹿の王 上・下」 上橋 菜穂子 著

どんなジャンルの本なのか、と問われると、敢えて言えば ファンタジーということになるでしょうか。この小説の舞台は架空の時代、架空の国であり 現実には存在しない場所での お話しですから。

しかし読んでいただければ分かると思いますが、単なるファンタジーという括りでは この本は量れません。ファンタジーであると同時に、躍動感あふれる 冒険小説であり、架空の世界の戦国物の小説でもありそして何よりこの小説を 特別なものとしている要素が優れた医療サスペンスである、という点です。

大国に征服された部族が囚人として囚われた岩塩鉱を襲った黒い狼。それに噛まれた囚人たちは一夜にして 一人の男と少女を残して全員が亡くなってしまいます。黒い狼がもたらせたものは何か、男と少女は何故生き残ることができたのか。中世の中央アジアをモデルとした国々の興亡をめぐる陰謀とともに、物語は医学的な見地から黒い狼がもたらした死の、その謎に迫っていきます。

読みやすい文体と重厚な構成のストーリーに、一気に読まされてしまう良作です。

センターにお越しの際はぜひ手に取ってみてください。

橋北市民センター 職員の異動（臨時職員）

退職 服部 洋子…… お世話になりました。
採用 西 みさ子…… よろしく申し上げます。

